

キクとイサム (1959)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 116分
初公開日 1959/03/29
公開情報 松竹

【解説】

水木洋子のオリジナル脚本を今井正が監督し映画化。会津磐梯山の農村を舞台に、戦後日本の人種差別を真正面から描いたドラマ。小学校六年のキクと四年のイサムは黒人と日本人のハーフで、祖母のしげに育てられていた。二人は、町へ出れば好奇の目にさらされ、学校へ行けば「クロンボ」と罵られた。ある日、カメラを持った男が村を訪れ、イサムの写真を撮っていった。気になったキクはしげにそのことを告げるが、しげは姉弟のどちらかを養子縁組に出すと言い出す。

【クレジット】

監督 今井正
製作 角正太郎
伊藤武郎
企画 市川喜一
脚本 水木洋子
撮影 中尾駿一郎 Shunichiro Nakao
美術 江口準次
音楽 大木正夫
録音 安恵重遠
出演 高橋エミ子
奥の山ジョージ Okunoyama George
北林谷栄
三国連太郎
織田政雄
多々良純
三井弘次